

かがやき



主な内容

- かがやく町民のつどい
- 先進地視察
- 日本女性会議2005
- ありがとう芳賀高
- かがやいています
- 小さいこえ、大きい声
- 活動のようす

新潟中越地震に続き、スマトラ沖大地震、アメリカを襲ったハリケーン等々、世界各地で相次ぐ自然災害は、尊い沢山の命を一瞬にして奪い去り、今でも大きな傷跡を残しています。又毎日の様にマスコミを賑わしている悲しい事件や事故、心が痛みます。そんな中、皇室を離れ民間人になられた紀宮様と黒田さんのご結婚のニュースは、私達国民が大きな喜びを共感できた出来事でした。環の町芳賀でも、待ち望まれていた南小学校が完成、又薬師の郷も完売になり、道路も整備され周辺の景色も少しずつ変化しています。

芳賀町女性団体連絡協議会も五年が経過、決意新たに「真の男女共同参画社会実現を目指して」ステップアップする時です。



JAはが野 芳賀地区女性会



毎年、文化活動の集大成として、レディースフェスティバルを開催し、環境・福祉活動としてアルミ缶回収を行なってきました。文化活動のいけ花教室では、会員が交替でデ

サービスセンター「すこやか南高」を訪問し、いけ込みを行い、大変喜ばれています。十二月から二月にかけては、減塩味噌づくりを行います。良質の材料で作った香り高い味噌は、私たちの自慢です。又、女性正組合拡大運動にも取り組み自立に向けて活動を展開しています。

昨年からは、地産地消イベント実行委員会に入り、「芳賀北小発表のつどい」には、おにぎりや豚汁を提供し、好評を得ています。例年、JA青年部が実施している次世代を対象とした農の体験学習（田植えや稲刈り）では、食事作りを行い交流をはかってきました。

この度、女性会員カードも出来ました。これからも、女性の地位向上と地域の活性化のための活動を進めてまいります。

私達は県消費生活リーダー養成講座修了生で、消費者の権利を守るため消費生活に関する知識を自主的に習得しながら、会員相互の親睦と資質の向上を図るとともに、地域における消費生活の安定向上に寄与することを目的に活動しています。

主な活動の一つが町民祭での消費者保護のための啓発活動で



くらしの会

す。消費者を狙った悪質商法や商品トラブルなどの情報を掲載したパンフレットを会員手作りの「かりんジュース」とともに配布しています。

他に今年は、食の安全・安心に関する情報を得るため「農林水産技術センター（さいたま市）」での視察研修も行いました。

今後も、急速な経済社会の変化に対応する自立した消費者をめざして活動していきたいと思っています。

編集委員

安保百合世 菅原 キン
稲川 清子 関 年子
小林 峰子 田川 典子
小堀 光子 増渕さつき
小山 佳子 山本 妙子
斎藤 芳子

ご寄稿いただきました皆様
ありがとうございました。
(委員一同)

第五回

かがやく町民のつどい

平成十七年十月二十二日(土)
芳賀町民会館ホール
馬頭琴と琴のしらべ



真岡市
細島 雅子

長い時が流れた現在も、私の心に響いているあの音色、それはモンゴルの馬頭琴と琴の調べです。

見事なまでに息の合った御夫婦の奏でる美しい音色に魅せられ、陶酔しながら静かに目を閉じて、遙か遠くモンゴルに想いを馳せておりました。

広い草原や透き通るような青空、そこに光を、風を感じ、そして雄大な厳しい自然の中で、遅くもゆったりと生きているモンゴルの人々の心にやさしく包まれておりました。

あの美しい調べは、無駄な

の、余計なものがそぎ落とされたモンゴルの人々の心そのものであるように、私の心に響いてきたのでした。

このような企画をされた芳賀町女団連の皆様、素晴らしい感動を有難うございました。

宇都宮市 鈴木 悦子

山歩きの友から誘われた町民のつどい。「馬頭琴と琴の調べ」への招待である。

町民ホールの立派なものには驚いた。音響はもちろん、広々としたホールの造りに、芳賀町の皆さんの文化への関心の高さを思い知らされた。

馬頭琴と琴の生演奏を聞くのは初めてである。吸い込まれるように聞き入る。

馬頭琴は二胡の一種というこ

とだが、ビオラを思わせるような音だ。モンゴルの琴は二十弦、しかも付け爪をしないせいとか、ハーブを思わせる響きだ。

哀愁を帯びた音色と演奏に、ただただ感動するばかりだった。

演奏が終了後、ロビーにて間近で見た馬頭琴は時を経た風貌があり、モンゴルの人々の音楽への熱い思いが感じられた。

上三川町 藤田百合子

「モンゴル音楽演奏会」にてモンゴル演奏会のチラシを戴き、早速夫に見せまると是非行きたいとのこと、数年前に息子と三人で行った時の事が走馬灯の様に巡ってきました。

スーホという歌がうまく乗馬も秀でた若者が、死んだ愛馬をしのんでその馬の毛と骨で楽器を作りました。その楽器が馬頭琴つまりモリン・ホールなのだそう。この伝説の真意はともかくモリン・ホールは最もモンゴルで普及している楽器です。

一番上に馬の形がついていて、やや長い二本の弦を弓で擦って演奏する、いわばチェロや胡弓の仲間です。その音色は草原の風のような渋味のある響きで、まるで馬のいななきのようです。

琴との二重奏で素敵な響きを聞かせてくれ、私達の心を魅了させてくれました。また、芳賀中生の演奏も中学生に勇気と感動を与えた良い機会と思いました。良き文化、良きお話、良き音楽、良き美術品等にふれ自分を確かめることができ素晴らしい一日でした。



馬頭琴ーレンチン・アマルバヤルさん(左)
琴ーアグヴァーンツェレン・ジャンバルスレンさん(右)

かがやく町民のつどいに参加して



芳賀中学校2年
水沼 美和

私たちはこのかがやく町民のつどいに参加して、今までにはなかった貴重な体験ができたと思います。

町民のつどいで私たち中学生が演奏させていただくのは今回が初めてだと聞いて、少し緊張を覚えました。「島唄」「ディズニールランドメドレー」など、演奏が進む度に会場の雰囲気明るくなり、良い演奏ができたと感じました。また、地域の方々に私たちの演奏を知っていただき、とても良い体験ができたと思います。

モンゴルの音楽もすばらしく、初めて耳にする音色に私は耳を



奪われました。吹奏楽とは異なった曲の流れに私はしばらく魅了されていました。

短い時間でしたが、この意義に過ごした時間を来年の活動につなげたいと思います。

馬頭琴って？

「スーホの白い馬」で知られるモンゴルを代表する民族楽器です。モンゴル語では、「モリンホール」。

胴の先端には馬の彫刻が施され、弦は二本。バイオリンやチェロ、胡弓のように弓を使って演奏します。

「草原のチェロ」とも言われる馬頭琴の音色は、風が吹き抜

ける夏の草原を感じさせてくれます。



平成17年度芳賀町女性団体連絡協議会役員

役職	氏名	団体名	地区名
会長	田川 典子	芳賀町商工会女性部	祖母井
副会長	斎藤 芳子	芳賀町ひばりの会	東水沼
副会長	安保百合世	芳賀町くらしの会	下高根沢
書記	山本 妙子	JAはが野芳賀地区女性会	上延生
〃	稲川 清子	芳賀町食生活改善推進委員会	与能
〃	大塚 由美	事務局	芳賀町生活センター
会計	小林 恭子	農村生活研究グループ	下高根沢
〃	増渕さつき	芳賀町くらしの会	東水沼
理事	田中ハマ子	芳賀町商工会女性部	西水沼
〃	小堀 光子	芳賀町商工会女性部	祖母井
〃	水沼 サヨ	芳賀町食生活改善推進委員会	祖母井
〃	関 年子	更生保護女性会	下高根沢
〃	国井アヤ子	〃	稲毛田
〃	黒崎 幸恵	JAはが野芳賀地区女性会	下高根沢
〃	見目トキ子	〃	東高橋
〃	大野谷 幸	芳賀町ひばりの会	東高橋
〃	人見 典子	〃	下高根沢
〃	岡田 順子	芳賀町くらしの会	西高橋
〃	黒崎 正子	農村生活研究グループ	下高根沢
〃	小林 峰子	〃	東高橋
〃	菅原 キン	日本赤十字奉仕団	下高根沢
〃	荒井三津子	〃	東高橋
〃	磯 孝	とちぎつばさの会芳賀支部	下高根沢
〃	小山 佳子	〃	祖母井
監事	綱川 知子	芳賀町食生活改善推進委員会	給部
〃	矢口 マサ	更生保護女性会	東水沼
〃	山本恵美子	日本赤十字奉仕団	稲毛田

今市市女団連との交流会

今年の先進地視察研修は、今市市女団連との交流会でした。十二月六日、今市に向かう車窓からは、雪景色の雄大な山が見えてきました。

きっかけに、さらなる活動をしていきたいと思いました。

田川 典子

会場では、役員の方々の笑顔に迎えられ、和やかな雰囲気の中で、自己紹介・意見交換を行いました。それぞれに共有する問題点も話題となり有意義な交換会となりました。

今市市ではすでに「男女共同参画推進条例」が制定・施行されています。それにさきがけ「男女共同参画都市」を宣言し、市民一人ひとりが「心豊かな未来をひらくため」に男女共同参画事業に取り組み各分野ごとに協力しているそうです。

芳賀町女団連は「男女共同参画社会」の実現に向けて、まだまだ勉強不足です。この研修を



日光神橋にて

交流のようす



日本女性会議

2005ふくい

2005年10月7日(金)・8日(土)

開催地・福井市

「ようこそ不死鳥の郷土へ」
「語りあかそう女と男」

今年の開催地福井市は昨年の豪雨を始め戦災、震災などの災害から幾たびも蘇えった不死鳥の街です。

あいにくと時折小雨降るお天気でしたが、多くのボランティアの人間味ある温かいもてなしに大変感謝の二日間でした。

地域によっては団体で参加しているところもあり、取り組みや活動の違いを実感しました。日本女性会議の存在すら知らなかった私ですが、様々な意味で刺激を受け、勉強しなければと考えさせられました。

当然女性の参加者が多いのですが、その中に男性の方々も多



女性団体より参加

数見られ社会は変化してきている、そして今回のテーマの主旨にそっていると感じました。次回は下関市、皆さんもぜひ女性のパワーを体験して下さい。大根田 理子

ありがとう芳賀高



与 能 幸継
稲川

高校再編の荒波にもてあそばされ、あと一年余で四十数年の歴史を閉じるという。卒業生としても、町内に住む者としても誠に残念なことです。

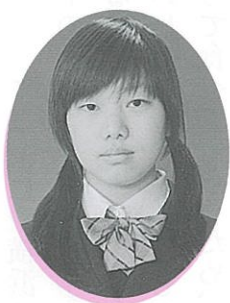
この原稿の依頼を受け久しぶりに校庭を訪れひと時を過ごし、色々な思いを感じました。

この地域での芳賀高の役割も本当に終わったのかとも。

校舎を見上げ、もし校舎が言葉を話せたら、今何んと言いたいのかと想像しています。血気盛んな若者の様に「何故なんだ」と大声を出すのか、知ったかぶりした大人の様に「やむを得ないのだよ」と言うか、いや「俺の話ももう少し聞いてくれよ」と言いたいかもしれない。しかし校舎はそんな人間の小ささを見おろし師走の風の中で



悠々とたっている。最後の卒業生の一人ひとりも温かく送り出してくれるだろう。その時改めて「ありがとう芳賀高」と言いに来たい。



3年
藤田夕佳里

私の通っている芳賀高等学校は平成十九年三月に閉校となつてしまします。

私は、芳賀高校で多くの事を学ぶことが出来ました。それは勉強だけではなく、資格検定取得に努力したことや、三年間友人と過した事など芳賀高校でしかできない行事や経験を通して、より有意義に過す事ができました。今年は入学

式もなく二、三年生だけの学校でしたが、十一月十三日に行われた芳賀町民祭では、学年の枠を越え団結して取り組みました。私が卒業する頃には、二年生だけが残り、いずれは芳賀高校という名の高校はなくなってしまうが、四十三年で幕を閉じる芳賀高校の伝統がいつまでも残ればいいなと想います。また、二年生には芳賀高校の最後の締めくくりとして有終の美を飾ってほしいです。私は芳賀高校に入って良かったと思うと共に、母校を誇りに思います。そしてここで学んだ事を将来に生かしていきたいと思っています。



栃木県女性の海外研修に

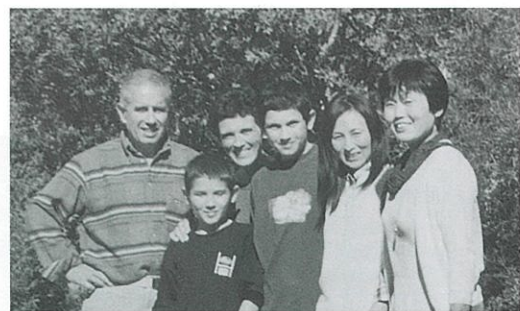
参加して

東水沼 増淵さつき

この度、環境、福祉、男女共同参画、消費者活動、国際交流の分野において、さまざまな研修の機会を得られましたことに感謝しています。

増税論議が高まる昨今、高福祉・高負担でよく知られる福祉国家「ノルウェー」の現場を視察研修できたことは、今後のありべき姿として大変参考になりました。国民に負担を受け入れながらも、お金を使わない豊かさがそこにはありました。負担の見返りである給付の配分方法が、高齢者や困窮世帯だけでなく現役子育て世代や中間所得層にも満足できるよう効果的に行われていることがうかがえました。

もうひとつの訪問国「フランス」では、ホームステイを通して



向かって右が増淵さん

て親子のコミュニケーションの素晴らしさを垣間見ることができました。また、合気道師範の父親の影響からか一家をあげて日本への憧れも強く、日本の文化を改めて再認識し、自国の文化に誇りをもつことの大切さを教えられました。

かがやいています

旬彩
おふくろ

黒崎 静江

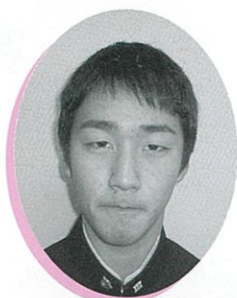
友遊はがの片隅に私の職場があります。旬彩「おふくろ」という地元の食材を使用した惣菜のお店です。

ガス台二台、冷蔵ケース一台の小さなお店ですが、お昼どきになると行列ができるほどの人気なんです。三年前おいしいものが大好きな仲間三人が、始めたお惣菜のお店。現在はパートさん五人も楽しく働いています。毎日新しい商品、おいしいものへのこだわりは大変なものです。時間を作っては東京や横浜のデパートの惣菜売り場を見学に出掛け、おいしいもの、安全なものを安心して食べてもらうため、三人で、



調理師の試験を受け免許も取得しました。現在私は六十五才です。でもやれば出来るを念頭にし経験を積み重ねてきました。「いくつになっても、青春とは心の若さである」を信念に希望にあふれ勇気に満ちた日々をおくりたいです。

小さいこえ 大きい声



芳賀中3年生
森 皓亮

十一月三日から僕は芳賀町の海外派遣団員として、アメリカのサンフランシスコに十日間行きました。そこで、たくさんの文化や生活に直接触れて多くのことを学びました。

そして、その中でも一番印象深かったのが、アメリカの同世代の子たちの勉強への取り組み方です。

アメリカと日本の学校の大きな違いは、生徒が活発的に授業に取り組んで進んで学習するところです。そのような点は、見習わなければいけないと思いました。

最後に、十日間アメリカでいろいろなことを学びました。将来自分がより良い国際人になるためにこの経験を生かしていきたいと思いました。



芳賀中3年生
土井 綾香

私は今回の海外派遣で一番心に残っているのはホームステイです。私がホームステイしたお宅は、マリアという女の子の家です。初めてホームステイで緊張していた私たちに親切にしていたので、自分の考えている事がなかなか上手に伝えられなくて苦労しました。しかし、マリアや家族の皆さんは私たちの言いたい事、伝えたいことを一生懸命、耳をかたむけて下さいました。そのおかげで楽しいホームステイの時間を過ごすことができました。このホームステイを通して、英語は文法だけでなく、心でも通じ合えたような気がします。この貴重な経験を生かせることができるいいなと思います。

健康の保持と

ふれあいの場を求めて



太極拳愛好会
福田 貞夫

三年前、芳賀町生涯学習センター内南高分館によってつくられた太極拳は、半年後には「芳賀町太極拳愛好会」として独立し今日に至っております。

二十三名の会員のうち十七名が女性であり、数少ない男性陣はウーマンパワーに圧倒されつつも、和気あいあい仲良く朝のひととき、心地よい汗を流しております。

三十代の若者も、八十代のおばあちゃんもみんな仲間なので、孫のことから旅行の話など話題が尽きません。

わたしを含めて会員の皆様には、朝の太極拳が生活の一部になっているのです。

芳賀町太極拳愛好会は健康の保持とふれあいの場を用意して、皆様をお待ちしております。



ふれあいタクシー
ひばり
岩村 サト

毎朝七時半、電話のベル。

「はいふれあいタクシーひばりです。」と第一声。

今年の七月一日から始まった「ひばりタクシー」はお客様を戸口から戸口へと安全に送迎するタクシーです。当初はお客様が利用してくださるか一喜一憂していましたがお客様のごとに皆様からお呼びが多くなり、オペレーター室も活気溢れるこの頃です。そしてお客様一人ひとりに「ひばりタクシーが出来る、とても助かります。」との声に町の福祉に対する思いやりの姿勢が感じられます。オペレーター、ドライバー共々お客様に対し親切・会話を大切にしながら日々精進するつもりです。今後とも「ふれあいタクシーひばり」をよろしくお願いいたします。